



与謝野町長

ま 藤 真  
とう 藤 真  
ぞえ 藤 真  
やま 藤 真

新年明けましておめでとうございます。住民の皆様におかれましては、ご家族ご友人おそいで和やかな新春をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。新たに迎えた本年も、住民の皆様とともにより豊かな与謝野町を築くことができるように、誠心誠意努力を重ねてまいります。

平成30年4月に、2期目の町政運営を担ってから早いもので4年の歳月が過ぎようとしています。この間、町民憲章に示されているまちの理想像を実現するため、第2次与謝野町総合計画と5つの基本政策からなるマニフェストとの整合性を図りながら、行政運営を行ってまいりました。この2年間は、国難とも言えるコロナ禍ではありましたが、住民の皆様のご努力のうえに、産業・交流・教育・福祉・環境などの分野で、確実に成果をあげることができたことを確信しています。



与謝野町議会議長

なり 正 成  
まさ 正 成  
だ 正 成  
た 正 成

新年明けましておめでとうございます。住民の皆様にはご家族、ご友人とともに、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素は当議会、各議員に対しまして深いご理解とご協力、ご支援を賜り、議会を代表し心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が拡散・拡大し、緊急事態宣言が発令・延長されるなど、大変な年でありました。当町のワクチン接種は、住民の皆様のご理解とご協力により12歳以上の接種率は約90%まで進めることができました。また、ワクチン接種の効果もあり、当町の感染状況は現在のところ落ち着きをみせています。しかし、昨年12月には、新たな変異株「オミクロン株」の感染者が国内でも確認されました。政府においては、何としても水際での蔓延防止を徹底していただきたいところです。また、住民の皆様

昨年を振り返ると、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症から住民の皆様が命・健康・生活を守ることを行政の最優先課題に位置付け、全職員が一丸となり取り組んだ1年でした。特に、新型コロナウイルス接種事業においては、医療従事者の皆様の特段のご協力により、対象者の約90%の方に2回目の接種を終えることができ、感染拡大や重症化リスクの低減を図ることができたと認識しています。しかし、新たな変異種であるオミクロン株の出現や世界各国の状況を鑑みれば、引き続き徹底した感染予防を行うことを基本としつつ、社会経済活動を回復基調に乗せ、力強くまちづくりを前進させなければならぬと考えています。本年こそは、新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越えたとと言える年にしたいと強く願っています。そして、令和3年度施政方針演説で示した年次方針である「希望の与謝野」を実現するために、誰もが希望を持ち、誰にでも優しく、ポストコロナ社会を見据えて前向きに変化するまちづくりに向けて、引き続き各種施策を進めてまいります。

施策の一例を挙げると、コロナ禍で強い影響を受けた子どもたちの夢や希望を応援したいという考えから、小中高生の夢の実現を後押しする「小中高生夢応援プロジェクト」を実施しました。

西協京都府知事のコロナ対策では、医療・療養体制の先進的な取り組みとして、入院医療コントロールセンターの設置、自宅療養中の見守り体制、妊産婦への支援として全額公費負担でPCR検査ができるなど、さまざまな施策に取り組んでいただいております。当町としても国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、生活支援、経済対策、医療・介護、福祉、教育に関する施策を一杯取り組んでおります。それでもすべからず十分かと言われると、中々十分とまでいかないのが実態であります。議会は、コロナ禍でのさまざまな困難を分析し公平な施策を国府に要請、要望をして参りますが、私たちが生きていくためには、自然的であれ人為的であれ、思わぬ事態や惨事がいつどこで起きるか分からないのが世の中だと考える必要があります。私たちは、コロナ禍という思わぬ事態を経験し、自然の中で生かされていることを改めて認識したところであり、いかに平凡な日々が幸せか、感謝も忘れては

### 私たちは人と人のつながりの中で生きている

た。その中で、多くの児童生徒から現在の夢と実現に向けて取り組んでいる様子を教えてもらいました。一人ひとりの夢に触れ、私たちも勇気をもらうと同時に、引き続きサポートしていきたいと気持ち新たにしたいところ。また、住民の皆様同士が支え合う気運がさらに醸成されたとも感じています。地域社会で暮らす方の考えや生活スタイルは多様であり、それを尊重することが重要であると思います。そのうえで、お互いが支え合い、小さな幸せを見つけ出し、こうとする関係にも接してまいりました。それらの場面を拝見し、与謝野町で暮らす人々はなんて素敵なんだろうと幾度となく思いました。

昨年末に、大手不動産会社が全国の成人を対象に居住満足度調査を実施し、「住み続けたい街（自治体）」ランキングが公表されました。与謝野町は、1700以上ある基礎自治体の中で9位でした。私たちは人と人のつながりの中で生きています。その関係性が豊かであればあるほど、住み続けたい町になるのではないのでしょうか。私は、このことこそが、本調査結果の意味だと考えています。

結びに、本年が住民の皆様にとって災害のない平穏でこの上ない年になりますよう、心から祈念申し上げます。皆様のご挨拶といたします。

### 議員は住民自治をしっかりと司る使命と自覚を

ならないと考えます。またどんな困難にも私たち一人ひとりが打ち勝つ力と日々の努力によって乗り越えなければなりません。

さて、今年、京都府知事選挙もありませんが、当町は4月に町長選挙、議会議員選挙を控えており、町長も2期目最後の仕上げの3ヶ月であります。思わぬ惨事や非常事態が起きたときに、独自の対策が取れる財政余力があればなりません。引き続き財政運営をしっかりと見据えていただきたいと願っています。議会も4月の改選で新たな構成になると思いますが、議員は二元代表制の一員として、住民自治をしっかりと司る使命と自覚を持たなければなりません。次の選挙では、住民の皆様にとしっかりと見据えていただきた上で、ご支援、ご協力、お力添えを賜りますよう、お願いする次第であります。

結びになりましたが、本年は寅年であります。千支の「寅」は春が来て根や芽を伸ばし、草木が伸び始める状態を表す意味を持っています。本年が住民の皆様にとって「寅」の意味とともに健康で心豊かな日々、災害のない輝かしい1年となりますよう、心からご祈念申し上げます。私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

阿蘇海に昇る朝日（阿蘇シーサイドパークから撮影）

謹んで  
新春の  
お慶びを  
申し上げます

令和四年